

「ありがとうございます。受付センターです」

「もしもし、注文をお願いしたいんですけど」

「ありがとうございます。それではお客様の電話番号をお願いします」

「〇三―三八―一―一八七五」

「お名前をお願いします」

「佐々木浩美です」

「佐々木浩美様ですね。少々お待ちください・・・お待たせいたしました。ご住所が、東京都渋谷区幡ヶ谷三―一―八でよろしいでしょうか？」

「四月に引越したので、住所が変わったんですけど・・・」

「それでは、ご住所の変更もこちらでうけたまわりますのでどうぞ」

「東京都渋谷区渋谷八―三十八、電話番号は今までと同じです」

「かしこまりました。それでは、ご注文の商品番号をお願いします」

「三八八一五を二つ、三八八九二を二つ、以上をお願いします」

「お客様申し訳ございません。三八八一五のプルーンエキスのほうが只今品切れとなっておりますので、入荷に三週間程かかってしまいますがよろしいですか？」

「はい、構いません」

「かしこまりました。それでは商品の確認をさせていただきます。三八八一五、プルーンエキスをを二つ、三八八九二、食物繊維を二つ、以上でございますね。

代金のほうは税込みで一萬三千三百円になります。お支払い方法はいかがなさいますか？」

「クレジットカード払いをお願いします」

「かしこまりました。どちらのカード会社になりますか？」

「ジャックスカードです」

「カード番号をお願いします」

「三五三五―八一〇八一―二四一五です」

「有効期限はいつまででしょうか？」

「二〇〇八年の四月です」

「かしこまりました。それでは食物繊維のほうは、本日これから発送いたします。プルーンエキスのほうは入荷が出来次第ご連絡させていただきます」

「わかりました。お願いします」

「担当の星野が確かにうけたまわりました。ありがとうございます」